

「奉献生活の年」



# 週報

カトリック 園田教会

B年

2015年  
3月1日(日)

No. 1941



四旬節 第2主日

ミ サ 9:00 ジョヴァンニ神父

四旬節愛の献金

## 今日の聖歌と祈り

入祭の歌 : 典礼聖歌 27 栄光は世界に および

答唱詩編 : 「聖書と典礼」をご覧ください

詠 唱 : 「聖書と典礼」をご覧ください

奉納の歌 : 典礼聖歌 139 すべての人の救いを(2)

拝領の歌 : プリント あわれみの み心よ (カトリック聖歌161番)

皆で唱える祈り : 司祭の召命を求める祈り

閉祭の歌 : 典礼聖歌 63 神は恵みと あわれみに満ち

## 今日の典礼奉仕者

先唱	武永
聖体奉仕	Sr. 辻家
第1朗読者	山下(壮)
第2朗読者	佐藤
共同祈願・意向担当者	① 池田 ② 上村 ③ 谷井 ④ 谷井
奉納と献金	建設・営繕委員会
典礼当番	畠山・細木
答唱詩編	全員
オルガン奉仕者	山田

## 今日の行事・他

- ・定例評議会
- ・日曜学校(信仰教育)

## お知らせ

- ・先週、6名の方が洗礼志願式を受けられました。受洗のための最終的準備期間である方々の上に、神の恵みが豊かにそそぎ、ますます強められますように、みなさんのお祈りをお願いいたします。
- ・新年度評議会議長選挙は本日(ミサ後)締め切ります。
- ・本日、ミサ後 ロビーにて「茶葉の出張販売」(尼崎教会聖堂建設資金のため)を致します。みなさんのご協力をおねがいたします。

(社会活動委員会)

## 〔十字架の道行〕

十字架の道行は、キリストの受難をしのび黙想する信心で、聖なる十字架によって世をあがなわれたキリストの歩まれた道程を浮き彫りにしてくれます。とくに四旬節中の金曜日に行くよう勧められています。

十字架の道行とは、ピラトの裁判の場面から始まって、ゴルゴタの丘への苦しみに満ちたイエスの歩みのさまざまな場面を黙想しながら進み、丘の上で十字架につけられ息絶えるまでと、最後に葬りの場面を黙想して終わる祈りです。

全部で14の場面に分かれていて、それが留とよばれます。つまり第1留から始まって第14留で終わります。どうして各場面が留と呼ばれるかという、一つ一つの場面の黙想のたびに歩みを止めて、一時そこに留まって祈るからです。

教会の聖堂の中の周囲の壁には、イエスの受難の各場面の絵や彫刻がかけられています。それが十字架の道行の各留にあたります。

この祈りの優れたところは、イエスの苦しみを場面ごとに深く黙想することによって、どうしてイエスがこんなに苦しまれたのかということを考えているうちに、自分の罪や人類の罪とイエスの苦しみとが一つにつながっていることが見えてきて、イエスの受難と死の神秘に深く到達する道を与えてくれるということです。それを頭で知るのではなく、聖霊の照らしによって次第にわからせていただけるのです。それが祈りの一つの強みです。

（「カトリック教会の教え」から）



## 今週の暦

---

3月2日(月) 集会祭儀 6:30～

---

3月3日(火) ミサ 6:30～ ジョヴァンニ神父

---

3月4日(水) ミサ 6:30～ ジョヴァンニ神父  
「教区 顧問会 10時半」

---

3月5日(木) ミサ 6:30～ ジョヴァンニ神父

---

**3月6日(金) ミサ・十字架の道行 19:00～ ジョヴァンニ神父**

---

3月7日(土) ミサ 6:30～ ジョヴァンニ神父  
・入門講座(9:00～10:00)  
・教会清掃(総務第1週)

---

**3月8日(日) 四旬節第3主日**  
**ミサ 9:00 ボナツィ神父**  
**「四旬節愛の献金」**

- ・ボナツィ神父の大人の日曜学校
- ・日曜学校(信仰教育)
- ・阪神地区宣教評議会(夙川教会 14:00～16:00)

